【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年2月25日(2021.2.25)

【公開番号】特開2019-115582(P2019-115582A)
【公開日】令和1年7月18日(2019.7.18)
【年通号数】公開・登録公報2019-028
【出願番号】特願2017-252491(P2017-252491)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　13/551　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/514　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/539　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　13/551
Ａ６１Ｆ　13/514　２００
Ａ６１Ｆ　13/539
Ａ６１Ｆ　13/514　２２１

【手続補正書】
【提出日】令和3年1月13日(2021.1.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
前後方向と、
前記前後方向に直交する幅方向と、
着用者の肌とは反対側に向けられる裏面シートと、
後処理用のテープ部材と、を有する吸収性物品であって、
前記テープ部材は、前記吸収性物品の外縁より外側に延出可能に構成されており、
前記テープ部材は、
前記裏面シートに固定された固定部と、
前記裏面シートに固定されていない非固定部と、
を有し、
前記固定部の周囲の少なくとも一部における前記裏面シートを５％伸張させるために必要な引張力が、前記テープ部材の前記非固定部の長さを５％伸張させるために必要な引張力よりも低い、吸収性物品。
【請求項２】
前後方向と、
前記前後方向に直交する幅方向と、
着用者の肌とは反対側に向けられる裏面シートと、
後処理用のテープ部材と、を有する吸収性物品であって、
前記テープ部材は、前記吸収性物品の外縁より外側に延出可能に構成されており、
前記テープ部材は、
前記裏面シートに固定された固定部と、
前記裏面シートに固定されていない非固定部と、
を有し、
前記裏面シート及び前記テープ部材は、フィルムによって構成されており、

前記固定部の周囲の少なくとも一部における前記裏面シートを構成するフィルムを５％伸張させるために必要な引張力が、前記テープ部材の前記非固定部を構成するフィルムを５％伸張させるために必要な引張力よりも低い、吸収性物品。

【請求項３】

前記固定部の周囲における前記裏面シートの破断強度は、前記テープ部材の破断強度よりも高い、請求項１又は請求項２に記載の吸収性物品。

【請求項４】

前記裏面シートの肌面側に吸収体を有し、

前記裏面シートは、前記吸収体と接合されており、

前記固定部は、厚み方向において前記吸収体と重なる領域に設けられており、

前記裏面シートは、少なくとも前記固定部と重なる領域に、前記吸収体との接合力を弱めた弱接合領域を有する、請求項１から３のいずれか１項に記載の吸収性物品。

【請求項５】

前記裏面シートの肌面側に吸収体を有し、

前記固定部に重複する領域での前記裏面シートと前記吸収体との接合強度は、前記固定部での前記テープ部材と前記裏面シートとの接合強度よりも低い、請求項１から４のいずれか１項に記載の吸収性物品。

【請求項６】

前記裏面シートの肌面側に吸収体を有し、

前記裏面シートは、前記吸収体と接合されており、

前記固定部は、厚み方向において前記吸収体と重なる領域に設けられており、

前記裏面シートの、少なくとも前記固定部と重なる領域は、前記吸収体と接合されていない、請求項１から４のいずれか１項に記載の吸収性物品。

【請求項７】

前記固定部の周囲における前記裏面シートの最大破断伸度は３００％以上である、請求項１から６のいずれか１項に記載の吸収性物品。

【請求項８】

前記裏面シートの、前記固定部の周囲の少なくとも一部の領域は、延伸加工されている、請求項１から７のいずれか１項に記載の吸収性物品。

【請求項９】

前記裏面シートの非肌面側に設けられた粘着部を有し、

前記裏面シートの延伸加工された領域は前記粘着部と重ならない、請求項１から８のいずれか１項に記載の吸収性物品。

【請求項１０】

前記テープ部材は、非延伸状態において、厚み方向から見て前記吸収性物品からはみ出さないように配置されている、請求項１から９のいずれか１項に記載の吸収性物品。